



株式会社ラネックス

住所：仙台市青葉区一番町2-5-22
 TEL：022-224-7625
 E-mail：info@po.lanex.co.jp
 URL：https://www.lanex.co.jp
 資本金：30,000千円 / 従業員数：82名
 事業内容：コンピューターソフトウェア開発



取組みの概要

- ・コロナウイルス感染症の感染防止のため、試行的に実施していたテレワークを緊急事態宣言後に週5日の頻度で全社員を対象に導入した。緊急事態宣言解除後は、週1日を自安に出勤日を設けている。
- ・テレワーク導入2ヶ月後に、全社員に対し今後の希望を確認したところ全一致でテレワークを基本としたいとのことだったため、オフィスも移転（縮小）し現在に至る。
- ・現在は、市内の感染者数が増えている時は出社日を設けないで減少した際は出社日を設けている。
- ・テレワークを運用するにあたりプロジェクト管理がさらに重要になると思い、代表の社員が「プロジェクトマネジメント研修」を受講し、その後社内でも行なった。

テレワーク導入状況

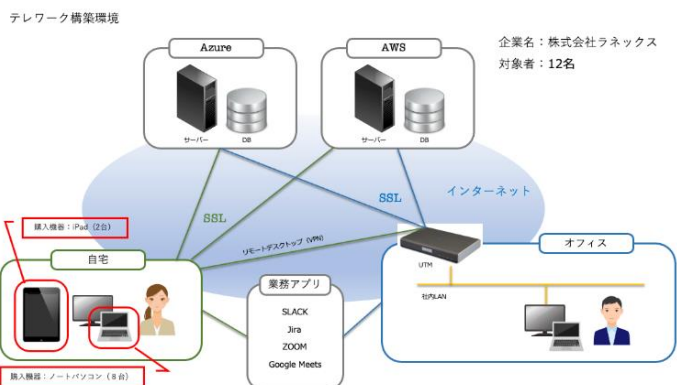
- ・**テレワーク実施人数** ①R3.2月 現在 実施人数80名（社員の約10割） ②最大実施人数（R3.2月） 82名（社員の約10割）
 ③新型コロナウイルス感染症前の実施人数 0名
- ・**導入部署（最大導入時）**：全部門（開発部門、営業部門、管理部門）
- ・**システム方式** リモートデスクトップ方式 仮想デスクトップ方式 クラウド型アプリ方式 安全ファイル持出方式
ファイル持出方式（ネットドライブやVPN経由持出） その他（ ）
- ※参考資料：（一社）日本テレワーク協会「テレワーク関連ツール一覧第5版」（PDFファイル：1.40MB）

テレワーク導入時の課題と解決方法

- ・テレワーク時のPC等機材の不足 → 社内に保管していた旧型のPCを使用しながら、必要なスペックのPCを新たに購入。
- ・テレワーク時の情報漏洩のリスクについて → テレワーク時に閲覧できるファイルを設定した。
- ・ファイルの共有とセキュリティについて → テレワーク前はオフィスにサーバーを多数置いていたが、テレワーク体制への移行に伴いほぼ全てをクラウド上に移行した
 → VPNで接続するなどしてセキュリティを確保した。

活用した機器・ツール・ソフト等

- ・PC 8台
- ・iPad 2台



実施した効果及び課題

○テレワーク

【効果】

- ・通勤時の感染リスクの軽減。
- ・通勤時間の有効活用。
- ・子供が小さい家庭でこどもが安全に過ごせるようになった。

【課題（解決方法）】

- ・コミュニケーションが少なくなった。
 → 就業中はオンラインミーティングで全員が顔が見えるようにすることで帰属意識を高め孤立感を軽減した。
 → コロナの感染状況を見極めながら週一で出社日を設けるなどして、帰属意識の向上やコミュニケーションを図っている。
- ・進捗管理が難しい
 → これまでも利用してきたが、Slackの管理およびグループウェアの利用を徹底し対応した。
- ・顧客から連絡があった際の対応について
 → オフィスの電話からテレワークメンバーの携帯に転送することで対応した。

○オンライン研修

【効果】

- ・移動時間を削減できるので、業務への影響を最小限に抑えられる。
- ・地元以外での開催のセミナーにも参加できる。
- ・コロナ感染のリスクが発生しない。

【課題】

- ・グループ討論で複数で同時に発言できない。
- ・通信回線やPCの不調でセミナーが中断してしまう。

経営者のコメント

【テレワークを始める前の考えなど】

- ・IT業界なので、本来個人の自由度とスキルおよび責任を持たせたかった。
- ・ただし完全成果報酬に移行するにはハードルが高く、テレワークへの移行に躊躇していた。

【テレワーク実施後の感想など】

- ・想定していたよりはスムーズにテレワークに移行できた。
- ・人によっては報告が滞ったり進捗が見えにくくなるのが発生したが、定期的にオフィスにきてもらうことで徐々に解消できてきている。
- ・オフィスも移転して、テレワークに特化したオフィスとなっており、今後もテレワークにて業務を行なっています。

【テレワークを導入する際のコツ、ポイント等】

- ・人それぞれテレワークに向いている人、向いていない人がいるので個別面談などを行い、そこを見極めること。
- ・実施した後も、成果物だけでなく精神的にも安定してテレワークが行えているか注意すること。
- ・その上で、あっている人はさらに自由度を上げ成果型に移行し、合っていない人はオフィスに来る回数をあげるなどケアしてあげるべき。

社員のコメント

- ・通勤時間がかからないので、自分の時間を有効に使えるようになった。
- ・自宅での作業なので、衣服などにかかるお金を軽減できる。
- ・感染リスクがかなり軽減できるのがよい。
- ・集中して仕事ができる。
- ・テレワーク前からフィリピンのチームとはオンラインで業務を行なっていたので、特に抵抗はなかった。